

2019. 3卒/学生アンケート調査実施結果

公益財団法人 大分県総合雇用推進協会

- ・ 9月時点で就職内定した者の割合 85.7%
- ・ 内定者のうち県内企業へ内定した割合 85.4%

◇協会主催の面接会等のイベントに参加した新規学卒者総数は 427 人

◇参加者全員にアンケートを送付し、回答があった学生は 56 人(アンケート回収率 13.1%)

2018年3月から8月の期間中に4回実施した、当協会主催の合同企業面接会等のイベントに1回以上参加した新規学卒者は427人であった。

参加者のうち、県内学生は287人(67.2%)、県外学生は140人(32.8%)であった。

参加した学生に対して「就職活動についてアンケート調査票」を8月20日に送付したところ、9月末日までに回答があった学生は56人(回収率13.1%)であった。

アンケートに回答した者の内訳は、県内学生35人(62.5%)、県外学生21人(37.5%)であった。

【学生の内定状況】

回答時点で内定している者は48人(85.7%)であったが、そのうち2社以上から内定を受けている者は26人(54.2%)であった。

内定を受けている者のうち、まだ就職活動を続けると回答した者は6人(12.5%)であった。

地域別の内定状況をみると、県内で内定を受けている者は41人(85.4%)、県外で内定を受けている者は15人(31.3%)であった。県内、県外の両方で内定を受けている者は8人であった。

【学生の就職活動の状況】

就職活動を開始した時期は、本年2月から3月の間が26人(46.4%)と最も多く、昨年10月から12月の間は11人(19.6%)、昨年9月以前は13人(23.2%)とバラツキがみられた。

就職活動地域をみると、ほとんどの学生が県内で就職活動を行っているが、県外でも就職活動を行った者は28人(50.0%)で、そのうち福岡県内で就職活動を行ったものは22人であった。

企業が実施したインターンシップへの学生の参加状況をみると、実際にインターンシップに参加した者は42人(75.0%)で、3社以上のインターンシップに参加した者は22人であった。

企業へのエントリーの状況をみると、実際にエントリーをした者は51人で、5社以上エントリーした者は34人であった。

面接を受けた状況をみると、実際に面接を受けた者は51人(91.1%)で、5社以上で面接を受けた者は26人であった。

【会社を選ぶポイント】

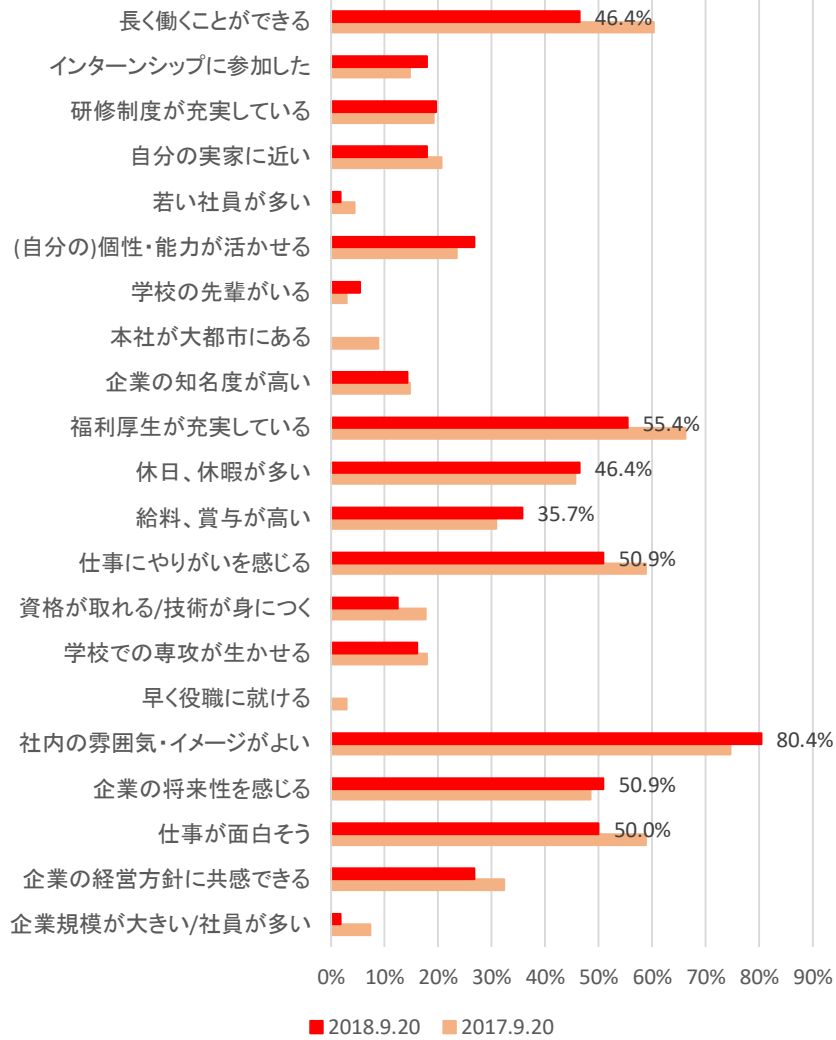
会社を選ぶ時の判断基準として 21 項目を設定して尋ねたところ、〔非常に重視する〕のは「社内の雰囲気・イメージがよい(80.4%)」、「福利厚生が充実している(55.4%)」、「仕事にやりがいを感じる(50.9%)」、「企業の将来性を感じる(50.9%)」の順となった。

一方〔全く重視しない〕のは「学校の先輩がいる(48.2%)」、「本社が大都市にある(48.2%)」、「インターンシップに参加した(30.4%)」の順となった。

(参考) イベント参加者一覧表

イベント開催日	参加企業数	参加者数(延べ)	新規学卒(実)	既卒者(実)
3月5.6日	160	402	292	6
6月3日	50	52	28	12
6月25.26日	100	129	67	14
8月13日	49	83	40	35
合計	359	666	427	67

非常に重視する



全く重視しない

